

授業科目

レクリエーション指導法

| | | | | |
|-------------------|------|----|-------|------|
| 【担当教員名】 小田切 毅一 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 言語・林 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

レクリエーション指導をするに当たって必要とされる、基礎的な方法論を学ぶとともに、現代生活で必要とされるレクリエーションの種々の機会に応用可能な、プラクティカルな実践に対処する能力を身につける

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 指導者に必要とされる指導能力、資質や能力について説明できる
2. レクリエーションの企画・立案について基本的な説明が出来る
3. ゲームや遊びの分類論に基づいて、それをグループワーク展開に活かした説明が出来る
4. 周囲の人々を楽しませる、ゲーム指導に基本的なテクニックなどを発揮できる
5. 軽スポーツを活用したチームワークづくりへの、実践的な対応ができる

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|-----------------------|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 指導法入門：名人芸不要の指導テクニック | | |
| 2 | レクリエーション指導者：リーダー&ワーカー | | |
| 3 | レクリエーションの企画・立案 | | |
| 4 | レクリエーションとその管理・運営 | | |
| 5 | レクリエーションのためのプログラム論 | | |
| 6 | ゲームを用いたグループワーク実践法 | | |
| 7 | ゲームを用いたグループワーク展開法 | | |
| 8 | 新たなゲームづくりへの挑戦 | | |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|-------------------|--|-------|-------|--------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 授業に応じて適宜指示 | | | |
| 参考資料 | 宇田川光雄『ゲーム学入門：分類法と指導の実際』遊戯社 日本レクリエーション協会監修『やさしいレクリエーションゲーム』成美堂出版 | | | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|--|-----------|
| 【評価方法】 出席および小レポート（毎時間）：50% 期末テスト：50% | 【履修上の留意点】 |
|--|-----------|